**「超党派災害医療船舶利活用推進議員連盟」**

**設立趣意書（案）**

日本は四面を海に囲まれ、領海を含むEEZ（排他的経済水域）は、国土面積38万㎢の約12倍と大きく、世界第６位（447万㎢）の面積を擁する海洋国家である。また、国連海洋法条約「第121条-島の制度」が示す海岸線の長さが100m以上の島だけでも、日本の領海内に6,852島ある。さらにその内、有人離島は416島にのぼる。また日本の国土は、北海道の択捉島北端から、南は与那国島南端まで3,328㎞の長い列島を連ねる海洋国である。一方、近年の気候変動は、日本列島でも例外なく台風等による風水害、土砂災害等の激甚災害を毎年のように増加させている。加えて、大規模な地震・津波災害等が発生する災害大国である。

海洋国日本の災害時においては、必需の救援物資や救援車両等のロジスティクス能力を持つ船舶を活用した医療の提供が効果的である。さらに、近い将来確実に発生するといわれる南海トラフ大地震、首都直下型地震への備えに万全を期すためには、海を活用して既往の不備を補う機略的アプローチをシームレスに展開する必要がある。同時に、議員立法の早期成立に加え、実施法の推進等、国の責務をフォローアップするとともに、国民の安全・安心への寄与を目途に災害時多目的船の創造及び、災害時の即応機能の強化を図るため、船舶を活用した医療を含む被災者支援体制の整備の推進を趣旨に「超党派災害医療船舶利活用推進議員連盟」を設立する。

議員各位のご賛同を賜り、本議員連盟へのご参加をお願い申し上げます。

以上、

超党派災害医療船舶利活用推進議員連盟

呼びかけ人代表　　額賀　福志郎